

畜産技術情報 NO. 1

令和6年7月19日 発行

十勝農業改良普及センター本所
(TEL 0155-67-2291)



普及センターHP

暑熱対策

気温・湿度の上昇により、乳牛の暑熱ストレスが増して生産性を大きく落とす事が懸念されます。日々の飼養管理を再度確認し、暑熱の対策を出来る事から実践し、夏場を上手に乗り切りましょう！



水槽・飼槽・扇風機・防鳥ネットの清掃

- ① 水槽はこまめに掃除しましょう。飼料の付着による汚れやカビ、腐敗臭は、採食量の低下につながります。
- ② 飼槽に残飼がこびりついていると腐敗臭により採食量が低下します。残飼はきれいに取り除き飼槽を乾燥させましょう。
- ③ 扇風機、防鳥ネットのほこりを除去しましょう。送風効率が高まります(高い場所での作業に注意すること)。



遮光と換気、牛体への直接送風

- ① 窓や天井に遮光ネットやすだれ、寒冷紗などを設置して牛舎に入る直射日光を遮りましょう。また、牛舎の窓や戸を開放して換気を良くしましょう。
- ② 扇風機やダクトファンを利用して牛体に直接風を当て、細霧装置等を活用して畜舎内を冷却しましょう。牛体への送風は、発熱量の多い首から肩付近に当てると効果的です。
- ③ 夜間の湿度が高い時は、扇風機の風量設定を変更し、風量をあげましょう。夜間に牛体と畜舎を冷却することで乾物摂取量の低下を防止します。



暑熱時の飼料給与

- ① 高温下ではサイレージが変敗しやすいため、保管時は日よけを行い、添加剤(プロピオン酸、ギ酸アンモニウム等)を利用して品質を落とさないようにしましょう。
- ② 暑熱により食欲が減退するため、良質粗飼料の切り替え、TMRへの加水、夜間の給与量を増やすなど、無駄なくエサを食い込ませる工夫をしましょう。
- ③ 重曹やカリウム、ナトリウム、マグネシウム等のミネラル類を増給しましょう。